

愛視協だより

発行 愛知県視聴覚教育研究協議会
事務局 名古屋市東区東桜1-13-3
NHK名古屋拠点放送局内
TEL (052) 952-7070

会長あいさつ

本年度より、愛知県視聴覚教育研究協議会の会長を務めさせていただきます幸田町立坂崎小学校の都築孝明でございます。本協議会の円滑な運営に向けまして、役員・理事の皆様とともに全力を注いで参りますので、会員みなさまには変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症による影響が社会に残したものは大きく、在宅勤務におけるテレワークやネットワークを活用したオンライン会議など、ICTが様々な生活様式にまで当たり前のようになり、影響を及ぼすようになりました。学校現場においても、児童・生徒一人1台のタブレットPCや、ネットワークにかかわる環境が整備されたことにより、タブレットPCを活用した授業実践も多く行われ、オンラインやオンデマンドを活用した新しい指導方法も模索されています。また、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るためにICTの活用をさらに進めることが重要な課題となっています。

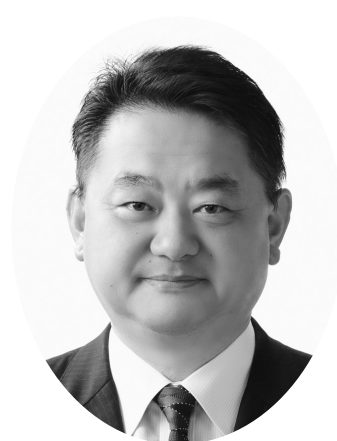
一方、NHKでは「NHK for School」によって「学校放送番組」「デジタル教材」などを提供することを通して、学校教育だけでなく、家庭学習の充実にも大きな役割を果たしています。

このような状況を踏まえ、今年度も、本協議会では、ICTや番組・コンテンツを、授業や活動の中にどのように位置付け、どのように活用するとよいかという研究に重点を置きたいと考えております。そして、各教科や、総合的な学習の時間において、放送教育の新たな展開を目指すとともに、放送教育の有効性を広める実践研究を大切にしつつ、ICTの活用を通して、情報モラルの育成や情報活用能力向上を目指していききたいと思います。

今年度も昨年度に引き続き、『第61回東海北陸地方放送教育研究大会』と『第55回愛知県放送教育特別研究会』をオンラインによる開催とし、各地域からオンラインを通じて大会にご参加いただき、発表や意見交換を行い、研究を深めたいと考えます。

また、愛知県視聴覚教育研究協議会は、放送番組を基盤にした新しい教育システムを構築するために、以下のことを中心に運営を進めてまいりますので、ご承知おきください。

- 『第61回東海北陸地方放送教育研究大会』と『第55回愛知県放送教育特別研究会』は、オンラインでの発表、意見交換とし、新しい放送教育の在り方を追究する。
- インターネットと連携した番組・教材を活用し、新しい放送教育の推進に積極的に取り組む。
- インターネットやタブレットPCなどのICTと、番組・コンテンツを組み合わせ実践など、ネットワーク社会に適合した研究を積極的に進める。
- 機関誌の発行をはじめ、研究会活動、研究実践の周知啓発を図る広報活動を行う。
- 生徒の情報活用能力・表現力の育成を図るために、中学校・高等学校で開催する放送コンテストを行い、作品審査を行う。



愛知県視聴覚教育研究協議会
会長 都築 孝明

令和5年度 愛知県視聴覚教育研究協議会

運 営 方 針

東海北陸地方放送教育研究大会と愛知県放送教育特別研究会は、オンラインでの発表、意見交換とし、新しい放送教育の在り方を追究する。

インターネットと連携した番組・教材を活用し、新しい放送教育の推進に積極的に取り組む。

インターネットやタブレットPCなどのICTと、番組・コンテンツを組み合わせた実践など、ネットワーク社会に適合した研究を積極的に進める。

機関誌の発行をはじめ、研究会活動、研究実践の周知啓発を図る広報活動を行う。

生徒の情報活用能力・表現力の育成を図るために、中学校・高等学校で開催する放送コンテストを行い、作品審査を行う。

1 東海北陸地方放送教育研究大会（愛知県放送教育特別研究会）

期 日 令和5年8月24日（木）

会 場 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）

※ 参集しての開催は行わない。オンラインによる講演、発表・意見交換。

2 愛視協研究指定

【小・中】愛知県学校視聴覚教育研究大会

期 日 令和5年11月17日（金）13：30～16：15

会 場 〔オンライン開催〕豊田市

3 放送コンテスト（愛知県大会）

【中】令和5年7月1日（土）

【高】令和5年6月4日（日）・18日（日）

4 愛視協だより 年2回発行予定

ご 案 内

第27回 視聴覚教育総合全国大会 第74回 放送教育研究会全国大会 合同大会

期 日	令和5年11月11日（土）
開 催	オンライン開催
大会テーマ	未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用
内 容	午前 ワークショップセミナー 午後 全体会・実践発表

第55回 愛知県放送教育特別研究会 第61回 東海北陸地方放送教育研究大会

期 日	令和5年8月24日（木）
会 場	オンライン開催（当日運営事務局：ウインクあいち）
主 題	「未来を拓く学びの場を創造しよう」
内 容	開会行事、部会研究、記念講演 講師：園田学園女子大学人間教育学部教授 堀田 博史 氏

第55回 愛知県学校視聴覚教育研究大会

期 日	令和5年11月17日（金）13：30～16：15
会 場	豊田市教育委員会（オンライン開催）
研究主題	主体的に学び、明るい未来を切り拓くことができる子どもの育成 －ICTを活用して新たな可能性を引き出す授業・業務改善－
内 容	実践発表（1部：4分科会 2部：4分科会 計8分科会）

第70回 NHK杯全国高校放送コンテスト愛知県大会

参加校数 61校 / 参加者数 1,000人
※2023年6月18日（日）刈谷市産業振興センターにて開催

アナウンス部門	最優秀	金城学院高等学校	糟谷美月
	優秀	光ヶ丘女子高等学校	戸次楓采
	優秀	椋山女学園高等学校	平松郁海
	優良	名古屋市立名東高等学校	古川文音
	優良	名古屋市立名東高等学校	松本ふわ梨
	優良	県立刈谷高等学校	滝藤春日
朗読部門	最優秀	県立旭丘高等学校	長谷川凜奈
	優秀	県立岡崎西高等学校	田中芽衣里
	優秀	県立刈谷高等学校	江坂瑠夏
	優良	名古屋市立名東高等学校	皆光里桜
	優良	県立半田高等学校	齋藤花音
	優良	名古屋市立菊里高等学校	土肥結奈
ラジオドキュメント部門	最優秀	名古屋市立菊里高等学校	『夢の続き～担任柿崎先生の想い～』
	優秀	県立岡崎西高等学校	『被る？被らない？被ってない！』
	優秀	県立一色高等学校	『アヤ先生はすごい人！』
	優良	光ヶ丘女子高等学校	『なにがあっても』
テレビドキュメント部門	最優秀	愛知高等学校	『LIKE FATHER』
	優秀	県立岡崎西高等学校	『えっ、なんで戻すの？』
	優秀	県立刈谷高等学校	『風街紀行 ダキシメルオモイ』
	優良	椋山女学園高等学校	『アラ還のメロディー』
創作ラジオドラマ部門	最優秀	名古屋市立菊里高等学校	『お相手はスマホ』
	優秀	名古屋市立北高等学校	『コトダマ』
創作テレビドラマ部門	最優秀	同朋高等学校	『僕を変えた二つの円柱形』
	優秀	光ヶ丘女子高等学校	『RunWay』

※上記の入賞者（入賞校）が、7月24日（月）～27日（木）にNHKホール（東京・渋谷）ほかで開催する全国大会に出場します。